

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 7 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害に備え、備蓄品の管理や年に2回(日中と夜間を想定した)火災避難訓練を実施している所ではある。コロナウイルス感染症も5類に移行したところではあるが、今後も感染症による集団感染などを想定した業務継続計画、また自然災害に対する業務継続計画の作成が必要である。	今年度中に業務継続計画(以降BCP)の作成を行い、有事のシュミレーションや訓練を行い、BCPがより活用可能なマニュアルとなるよう検討・改善していくことが出来る。	年に2回の避難訓練を継続していく。 感染症と自然災害想定BCPの作成を行い、避難訓練の時に内容の確認や検討を行う。	ヶ月
2	6	身体拘束や虐待防止について、職員一人一人が意識的に注意しケアに臨んでいる所ではあるが、施設全体としてまとまって取り組むことが出来ておらず、個々人の判断やモラルに左右されている部分がある。	組織として権利擁護の問題に取り組み、職員の意識の統一化を行い、「身体拘束の原則禁止」「虐待防止」に努めていく。	勉強会による集団研修とともに、虐待問題が掲載されている新聞記事などを活用し日常的に高齢者の権利擁護について考える機会やフィードバックを行い、組織として権利擁護について意識の統一化を行っていく。	ヶ月
3	49	施設の立地(急傾斜)や入居者の体力低下により、病院以外の外出が年々難しくなっている。一人ひとりの希望は把握しているが、希望に沿った支援体制が整っていない。	職員の補充により、人的余裕が生まれているところ。利用者の体力維持向上に向けた運動の提供に加え、本人の希望される場所へ外出出来るよう計画を立てていく。		ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。